

茅ヶ崎市記者発表資料
2025年7月11日
環境部環境保全課課長 添田 裕巳
電話0467(82)1111 内線1239
下水道河川部下水道河川管理課課長 森野 修作
電話0467(82)1111 内線1379

汐見台2号水路(雨水吐出口)における水質事故(白濁水の流出)について

【第2報】

令和7年7月6日(日)、茅ヶ崎市汐見台の2号水路(雨水吐出口)において発生した白濁水流出の水質事故について、海域への流出防止策を講じておりましたが、7月10日の降雨を受け、白濁水が海域に流出したことが確認されました。

これを受け、市では流出箇所の簡易水質検査を実施し、再び海域への流出防止策を講じ引き続き対策を進めています。

1 経緯

海域への白濁水流出確認日時:令和7年7月10日(木) 午後8時40分

2 事故対応状況

7月10日(木) 午後11時30分 流出防止策(止水堤)再構築を実施済み

7月11日(金) 茅ヶ崎市(環境保全課)により水質の簡易検査を実施

引き続き辻堂西口付近及び汐見台2号水路の白濁水回収作業を実施

3 簡易水質調査結果(採水場所:汐見台2号水路地先海域)

7月11日に簡易水質試験を実施した結果は以下のとおりです。

pH(水素イオン濃度):8.5

COD(化学的酸素要求量):2mg/l

4 今後の対応

現地の監視を行い、原因調査と回収作業を継続してまいります。

5 言葉の説明

pH(水素イオン濃度)

水の酸性・アルカリ性の度合いを示す指標で、7のとき中性でそれより大きいとアルカリ性、小さいと酸性になる。通常の河川水はpH7付近で、また海水ではpH8付近となっている。

COD(化学的酸素要求量)

水中の有機物などを酸化剤で酸化するときに消費される酸化剤の量を酸素の量に換算したもの。
数値が大きいほど有機物による汚濁が大きいことを示す。湖沼や海域における有機汚濁の代表的な指標として用いられ、環境基準が定められている。